

グアテマラ経済（2012 年 8 月）

平成 25 年 1 月
在グアテマラ日本国大使館

『8 月の主な動き』

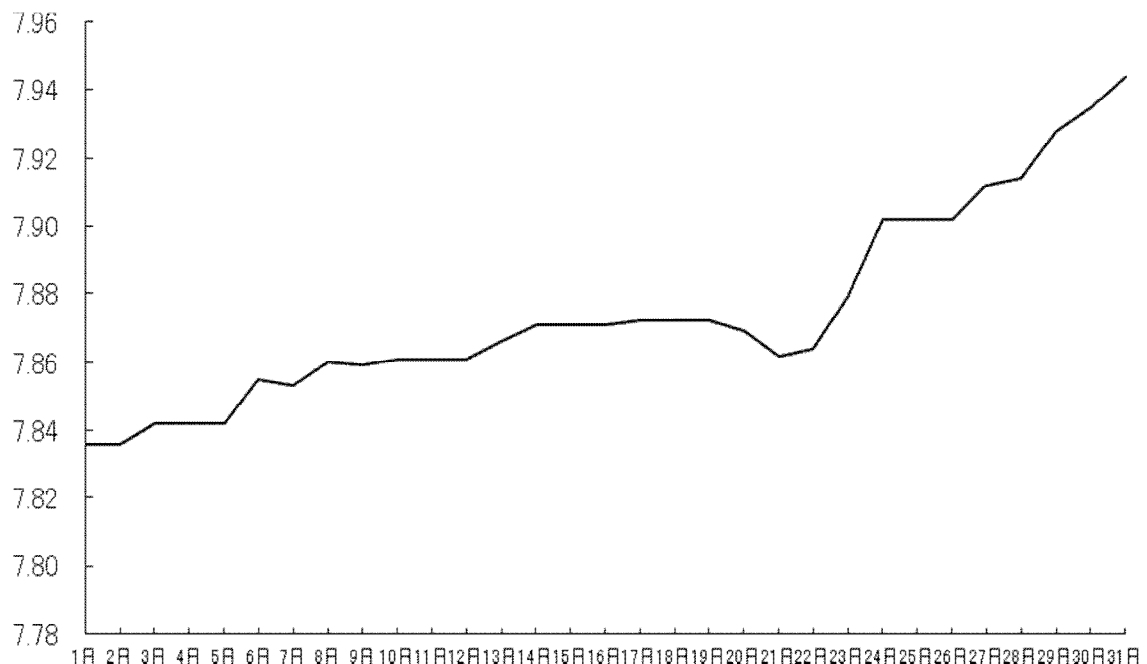
- 8 月、対米ドル・ケツアル為替は 1 ドル＝7.836～7.945 の範囲で推移した。
- 8 月、消費者物価指数は対前月比 0.45%、対前年同月比 2.71%上昇した。
- 8 月、外国からの送金額は前月に比べ上昇し、対前年同月比でも 7.77%増となった。
- 31 日、センテーノ財務大臣は 2013 年度国家予算案を国会に提出した。

1. 主な経済指標

（1）為替レート（中銀）

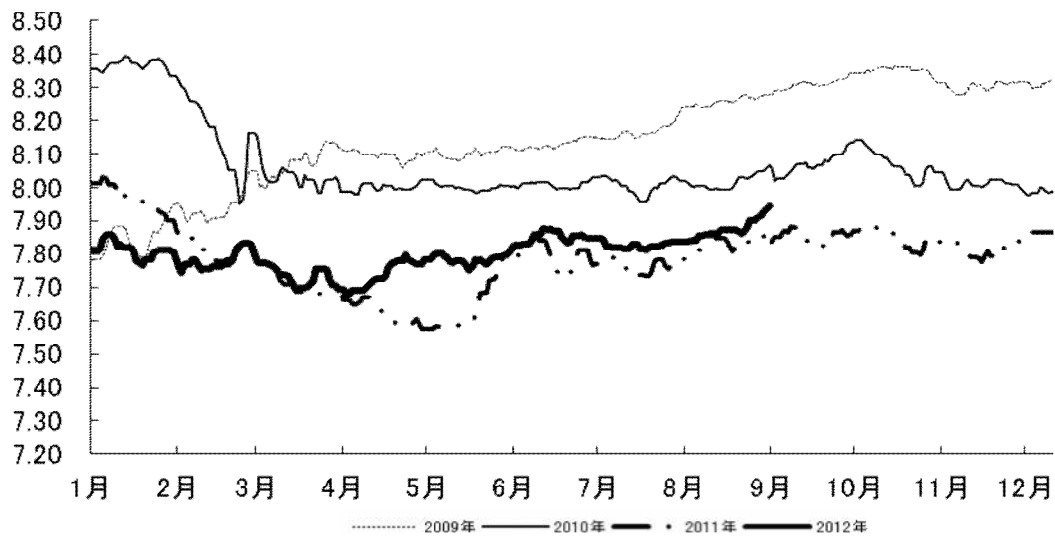
8 月、ケツアルの対米ドル為替相場は、1 ドル＝7.836～7.945 の範囲で推移した。8 月 31 日時点の為替レートは同月初頭に比べ 0.1089 ケツアル高ドル安の 1 ドル＝7.9445 ケツアルであった。

ケツアル対ドル相場の推移：2012 年 8 月



（出典：グアテマラ中央銀行）

ケツアル対ドル相場の推移：2009 年-2012 年

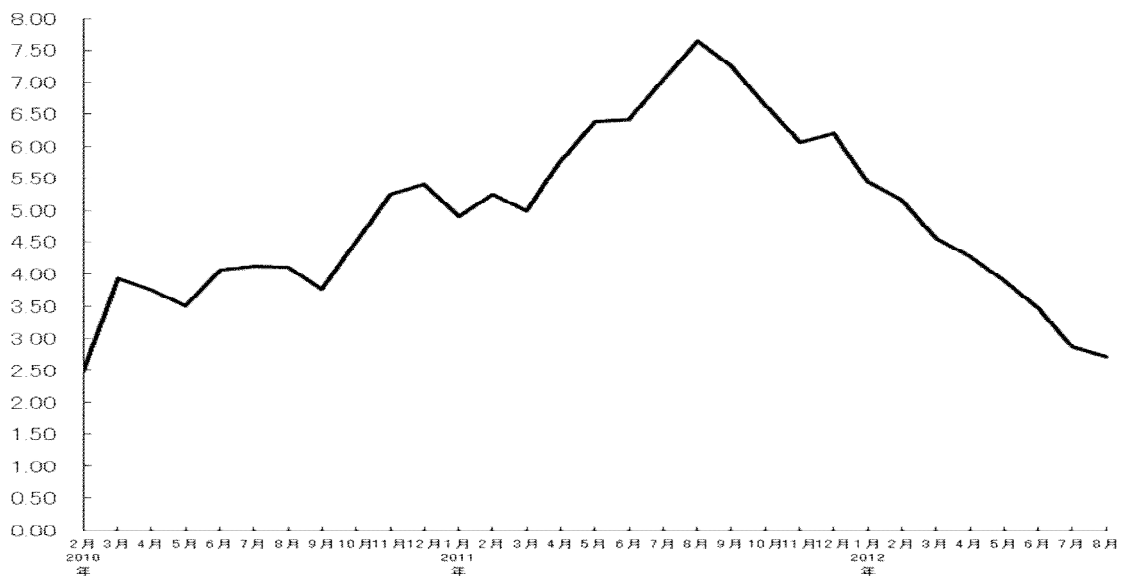


(出典：グアテマラ中央銀行)

(2) 消費者物価指数（国立統計院）

8 月、消費者物価指数は前月比で 0.45%上昇し、前年同月比では 2.71%上昇した。

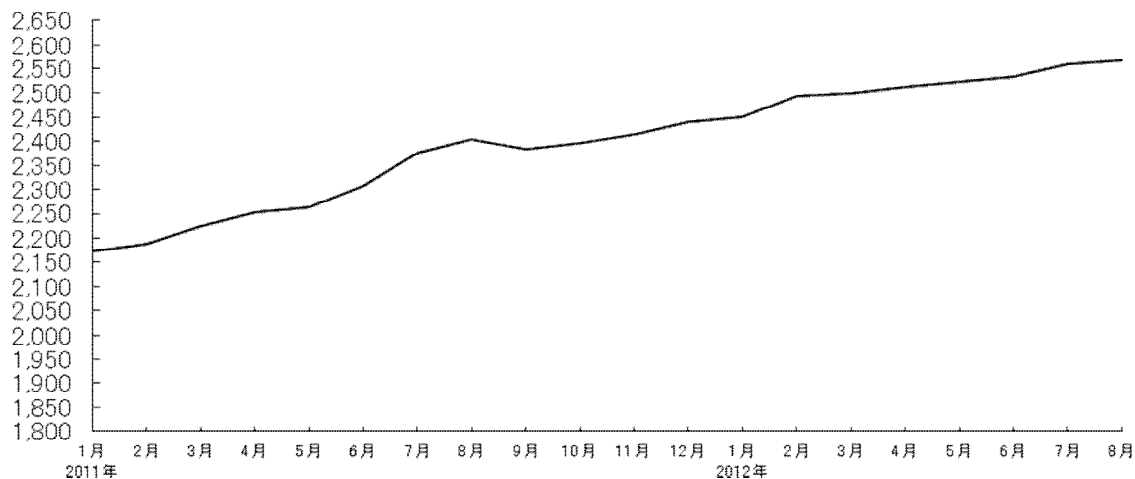
消費者物価変動率(対前年同月比：%)：2010-2012 年



(出典：国立統計院)

基礎的食料品バスケット（Canasta Básica de Alimentos: 1 世帯 5.38 人分のカロリーとタンパク質の摂取を満たす最低限の食料 26 品目）価格は、前月比 12.30 ケツアル増の 2,565.90 ケツアル/月となった。

基礎的食糧品バスケット価格：2010-2012 年
(単位：ケツアル)



(出典：国立統計院)

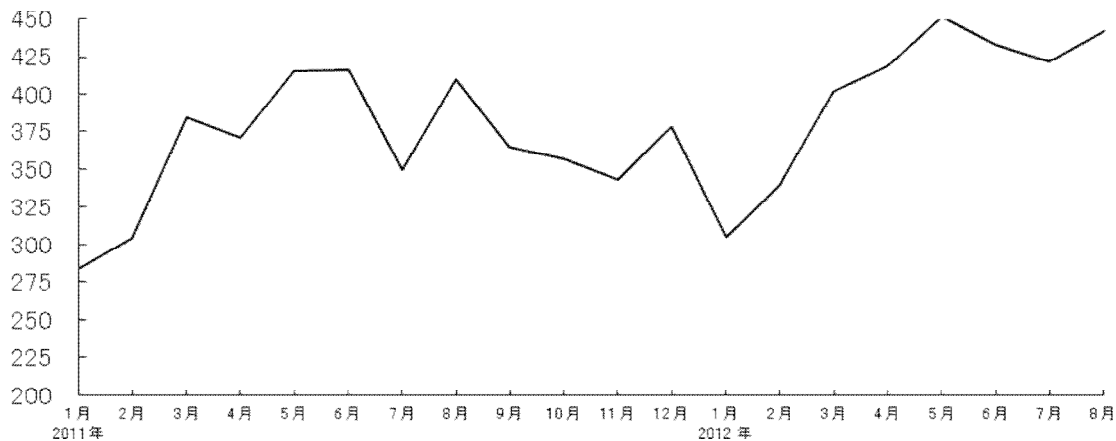
また、基礎的生活バスケット（Canasta Básica Vital: 基礎的食料品バスケットに、生活に不可欠な財と最低限のサービスを加えたもの）の価格も、前月比 13.69 ケツアル増の 4,682.30 ケツアル/月となった。

(3) 外国からの送金（中銀）

8月、外国からの送金額は前月に比べ上昇し、前年同月比でも7.77%増の4億4,140万ドルとなった。

外国からの送金額：2011-2012年

(単位：百万米ドル)



(出典：グアテマラ中央銀行)

2. 経済トピックス

(1) 2013年度国家予算案の国会提出

31日、センテーノ財務大臣は2013年度国家予算案を国会に提出した。右予算案の歳出規模は669億8,540万ケツアル（約85億8,700万ドル）で、2012年度国家予算比12.5%増。一方、歳入について、政府の税收見込み額は503億7,570万ケツアル（全歳出の75.2%）で、不足分は海外からの借款・贈与、国債発行等で補填される。

(2) 当国建設部門の動向

3日、当國中銀は本年第一四半期の建設部門の生産高は前年同期比4.7%減となった旨発表した。当国建設協会は、当国政府が道路等のインフラ整備に十分な資金を投入しなかったため、2008年の世界経済金融危機の影響から十分に回復するに至っていない旨述べると共に、現政権が実施した税制改革が当国のフォーマル部門に従事する建設業者の投資インセンティブを妨げるものであったと批判した。

(3) 2012年上半期の当国の輸出

9日、当國中銀は本年上半期の当国の輸出総額は52.5億ドルで対前年同期（54.1億ドル）比3%減となった旨発表した。中銀は同輸出額の減少に関し、当国の主な輸出品の一つであるコーヒー、カルダモン及び天然ゴムの輸出額の減少が影響している旨述べた。なお、コ

ーヒーについては輸出量及び輸出額共に減少を記録、カルダモンは輸出量が増加（対前年同期比 67%増）したものの国際価格の低迷により輸出額が減少（対前年同期比 25.6%減）する結果となった。他方、砂糖は 410.1 百万ドルで対前年同期比 32%増を記録した。

（４）2012 年の当国税収

（ア）16 日、国税庁は本年の当国税収に関する報告書を発表した。同報告書によれば、本年上半期の当国の税収総額は 22,595.8 百万ケツアルで対前年同期比 5.05%増。なお、右税収内訳は、輸入品に対する付加価値税（IVA）が 6,740.5 百万ケツアル、国内製品に対する IVA が 5,002.8 百万ケツアル、税関手数料による収入が 1,272.46 百万ケツアル。

（イ）他方、センテーノ財務大臣とグティエレス SAT 長官の間で本年末までの当国税収の見通しに相違があることが判明。「セ」大臣は本年末までに 43,611 百万ケツアルの税収を見込んでいるのに対し、「グ」長官は同見通しにつき楽観的すぎると批判し、SAT としては 42,560 百万ケツアル程度に留まるとの厳しい見方をしている旨明らかにした。

（５）新規借款の国会承認

（ア）7 日、当国国会において、我が国円借款案件「和平地域道路整備計画（II）」が承認された。

（イ）23 日、国会は保健サービスの向上と栄養改のための借款 35 百万ドル（米州開発銀行（IDB））と零細小・中企業の生産性向上に向けた借款 32 百万ドル（世銀）を承認した。

（６）石油の試掘・採掘に関する国際入札の公示

13 日、当国エネルギー鉱山省は、ペテン県、アルタベラパス県、イサバル県、ウエウエテナンゴ県及びキチェ県の石油の試掘・採掘に関する国際入札を公示した。右公示によれば、落札企業は 25 年間の試掘・採掘権（最大で 15 年間の延長が可能）を有することになり、ロイヤルティ料は年間総売上上の 5%で、政府は 30～45%の資本参加が可能。落札企業は遅くとも 2013 年 1 月には決定する予定。

（７）クルーズ船の寄港

15 日、ドウチェス観光庁（INGUAT）長官は、2012 年 9 月～2013 年 3 月までの間に前年同時期（38 隻）の約 2 倍となる 72 隻の国際クルーズ船が当国に寄港する予定である旨発表した。同長官によれば、1 隻当たり約 3,000 人の観光客が乗船しており、当国に寄港した際にはお土産等の購入により一人当たり平均約 120 ドルの支出が見込まれていることから、当国の観光部門における外貨獲得に貢献すると期待している旨述べた。

（８）当国の長期信用格付け

1 日、格付け会社 Fitch は、当国の長期信用格付けに関し、当国のマクロ経済情勢が安定的との見通しにあると判断し、現在の格付け BB+を維持する旨発表した。

(了)